

安足地域麦類技術情報 No.2

令和4(2022)年12月12日
安足農業振興事務所



作業の重要ポイント

- ◎ 3枚目の葉が展開したら麦踏みを行いましょう
- ◎ 排水対策を行いましょう
- ◎ 秋耕をしましょう

1 気象経過と生育概況

11月は、平年に比べて気温が高く、降水量は平年並、日照時間は多く推移しました。

播種時期に好天が続いていたため、播種は順調に行われました。播種後にまとまった降雨が無かったため、出芽は良好でした。11月中旬に播種した圃場では2葉目が展開し始めていました。



写真 麦の生育の様子(12月5日撮影)
播種日：11月18日
品 種：ニューサチホゴールデン

2 今後の気象

気象庁の3か月予報(11月22日発表)によると、1月の気温は低いまたは平年並、2月は気温が低いという予報が出されています。

気温、降水量の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	12月~02月	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		12月	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)
		01月	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		02月	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)
降水量	関東甲信地方	12月~02月	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		12月	30 (低い) 40 (平年並) 30 (高い)
		01月	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		02月	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 これからの作業のポイント

(1) 麦踏みを行いましょ

麦踏みは分けつ促進、耐寒性強化、早期茎立の抑制など収量・品質を安定させるための重要な作業です。

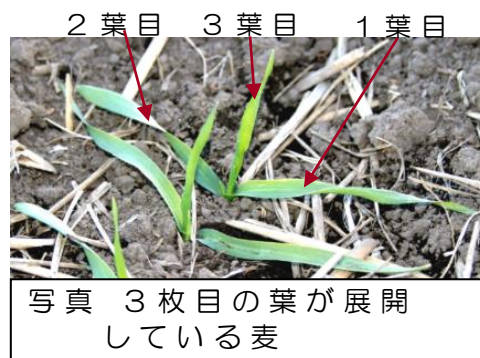
1月、2月は気温が低い予報が出されています。根張りを良くし、寒さに強い麦を生産するため、麦踏みを行いましょ。

麦踏みのポイント

- ① 3枚目の葉が展開してきたら、麦踏みを行いましょ。生育が遅れている場合は無理に踏まず、3枚目の葉が展開したら行います。
- ② 麦踏みの回数は、年内1回、年明け～茎立期直前までに2回以上が目安です。麦踏みの間隔は10日から2週間程度の間隔をあげるようにしましょう。
- ③ 麦踏みは圃場が乾燥しているときに行います。雨や雪によって土壌水分が高いときに麦踏みを行うと、土が締まって湿害による根傷みを起こし、生育不良に繋がります。土を手で握り、湿った状態であれば無理な麦踏みは避けましょ。

表 麦踏みの効果

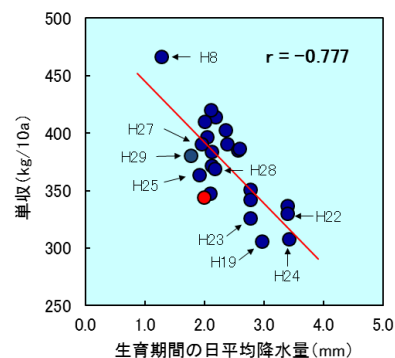
分けつを促進させる
根張りを良くし、耐寒性をつける
霜柱などによる凍上害防止
暖冬時早すぎる茎立ちを抑える
穂揃いを良くする



(2) 湿害対策を行いましょ

麦は、栽培期間を通じて湿害を受けやすい作物です。湿害を受けると生育不良になり、減収に繋がります。

近年は短期間にまとまった雨が降ることが多く、麦の収量に影響を及ぼしています(右図)。湿害を防ぐため、排水対策を徹底しましょ。



麦単収と降水量との関係
(平成6年産～30年産、ただし、平成26年産は穂発芽被害のため除く)

湿害対策のポイント

- 排水溝は排水路に繋いでおきます。排水性維持のため、排水溝を点検し、必要に応じて溝さらいを行いましょう。排水対策を行うことで圃場が乾きやすくなり、麦踏みを実施しやすくなります。排水溝がまだない場合は早急に設置しましょう。

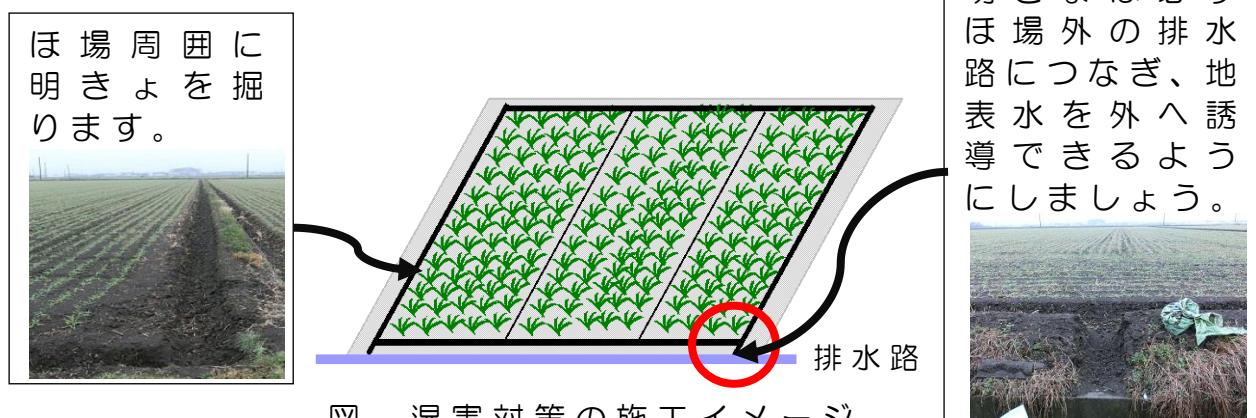


図 湿害対策の施工イメージ

(3) 水稻収穫後の秋耕をしましょう

稲刈り後に麦を作付けしていない圃場では、秋耕を早めに行うことで、以下の効果があります。

- 地力向上とメタンガスの発生軽減

地温が高いうちに稲わらすき込むことで、わらの腐熟分解が促進され、地力が向上します。また、次年産で水稻の根腐れを起こすメタンガスの発生を減らすことができます。わらの腐熟を促進させるため、石灰窒素を 10~20kg/10a 散布してからすき込みましょう。

- イネ縞葉枯病対策

水稻収穫後の再生稲（ひこばえ）は、イネ縞葉枯ウイルスを媒介するヒメトビウンカの越冬場所となるとともに、病原ウイルスの伝染源となります。イネ縞葉枯病に罹病すると、葉先から‘こより状’に垂れ下がって枯れ上がり、穂は出さくみとなって減収します。速やかに耕起し、ヒメトビウンカの越冬場所を無くしましょう。

イネ縞葉枯病対策の詳細については、「栃木県農業環境指導センター 病害虫防除対策のポイント No.17（右の QR コード）」をご覧ください。



問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431
ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>